

《どうでもいい話、その 500》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

この“どうでもいい話”も、約20年前に始めて今回で500回になります。長いことお付き合い頂きありがとうございます。ネットなどを通じてこの様な文章は、たくさん出回っていますが、天井にもランクがあるように、文章にもランクがあります。天井の場合は、上、中、並、と分かれています。文章を天井ふうに分類すると、論文調、エッセイ、駄文、という順序になります。論文調（天井の“上”でエビが2本と野菜）の場合は、椅子に座り直して「では読ませていただきます」と、居ずまいを正し読みます。エッセイ（天井の“中”でエビが1本と野菜）の場合は、椅子に浅く座り「じゃー、読んでやるかア」とつぶやきながら読み始めます。これが駄文（天井の“並”でエビはなし野菜のみ）となると、ガムを噛みながら寝そべって「なんだー、この文は～、くだらない！」と、無視します。この「どうでもいい話」も、下ネタ、自慢話、イチャモン、など、本当にどうでもいい駄文で、500回も続いたのは、やはり「低俗は力なり」です。

岩波より